

2022年2月22日

千葉県議会議員定数検討委員会 様

日本共産党千葉県議会議員団

1. 次期千葉県議会議員選挙の執行にあたり、別紙の通り30選挙区・総定数94とすることを提案する。以下、提案の基本的な考え方を示す。
2. 2021年9月24日に明らかにした「議員定数等に関する検討項目（委員長私案）について」および2020（令和2）年国勢調査確定値をふまえて、多様な民意がより正確に反映した県議会とすることを基本に据えた。
 - ①議員総定数は、これ以上の削減は避け、現在の94議席とする。
 - ②一票の較差は1対2を超えない。現在の最大格差は3.06であり、2倍以上は18選挙区あるが、今回の提案では、最大格差1.64となり、全選挙区において1対2を下回っている。
 - ③議席に結びつかない票が多くなる「定数1」の選挙区を可能な限り解消する。
そのために、法令上許される選挙区の合区を行う。今回の提案は、定数1の選挙区は、現在の13選挙区から1選挙区（四街道市）に大幅に減少した。
なお、強制合区しなければならない「勝浦市・夷隅郡選挙区」は、「いすみ選挙区」「長生郡選挙区」「茂原市選挙区」を合区し、その「選挙区」と強制合区する。
 - ④各選挙区の定数は、2020（令和2）年国勢調査確定値にもとづく「配当基数」（理論値）により、配分する。

以上